

【（a）研究計画、研究方法など①（つづき）】

【（a）研究計画、研究方法など①（つづき）】

（a）研究計画、研究方法など②

本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯と準備状況、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置付け、について記述すること（1頁以内）。

風呂で巨大な温泉卵について考えていて、ふと思いついた。

準備はしようとしている。

唯一無二。

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領 4 頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記述すること（1 頁以内）。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

象の卵の ES 細胞の培養、象のクローンの生成などは行わない。

L^AT_EX の便利な機能については、`egg_***.tex` や `sample.pdf/egg_***.pdf` をご覧ください。

（b）研究遂行能力及び研究環境（研究代表者）

研究者 （代表）	(ふりがな) 氏名	(ゆかわ ひでき) 湯川秀樹	生年月日 (年齢)	1900年 2月 29日 (139歳)
	所属研究機関・ 部局・職	逢坂大学・原始穀研究所・名誉教授	学位	理学博士

本欄には、応募者の研究計画の実行可能性を示すため、(1)研究代表者のこれまでの研究活動、(2)研究代表者の研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）、(3)研究組織全体の研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について記述すること（2頁以内）。

「(1)研究代表者のこれまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

（1）研究代表者のこれまでの研究活動

―― ※留意事項 ―――

1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。例として、学术论文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。
3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。
4. 本留意事項は、研究計画調書（計画研究）の作成時には削除すること。（\PapersInstructionsを消す）

応募者は過去20年間、7つの海を隅から隅まで航海し、浅瀬から深海まで潜り、文字通り東西南北上下の3次元でシロナガスクジラの卵の探索を行ってきた（業績1）。シロナガスクジラに飲み込まれそうになったり、海賊に捕まるなどの危険な目にもあったが、それにもめげず、研究を遂行してきた強靱な能力を有する。

（2）研究代表者の研究環境

シロナガスクジラの卵を探すために用いていたソナーと双眼鏡、及びシロナガスクジラの卵を引き上げるために用意していた大きな網は、そのまま使える。

（3）研究組織全体の研究環境

―― ※留意事項 ―――

- ※ 研究組織が研究代表者のみで構成される場合には、「（3）研究組織全体の研究環境」の記述は不要です。

（\JSPSInstructionsBは消してください）

常識にとらわれない研究代表者のほかに、藁の山の中の針を見つけるために超強磁場発生装置を持つ研究者、超新星探索のために皿のような目を持つ研究者、熟練の象使いなどが集まっているため、人材、装置ともに研究環境は抜群である。

1. “Search for whale eggs”, H. Yukawa *et al.*, Rev. Oceanic Mysteries **888**, 99 (2017).
2. “Theory of Elephant Eggs”, H. Yukawa, Kara Juzo *et al.*, Phys. Rev. Lett. **800**, 800-804 (2005).
3. “仔象は死んだ”, Kobo Abe, 安部公房全集 **26**, 100-200 (2004).
4. “The Elephant’s Child (象の鼻はなぜ長い)”, R. Kipling, Nature **999**, 777-799 (2003).

【（b）研究遂行能力及び研究環境（研究代表者）（つづき）】

5. “You can’t Lay an Egg If You’re an Elephant”, F. Ehrlich, JofUR
(www.universalrejection.org) N/A, 2002 ().
6. “Egg of Elephant-Bird”, A. Cooper, Nature, **409**, 704-707 (2001).
7. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
8. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
9. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
10. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
11. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
12. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
13. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
14. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
15. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
16. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
17. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
18. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
19. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
20. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
21. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
22. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
23. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).

（b）研究遂行能力及び研究環境（研究分担者）

研究者 (分担)	(ふりがな) 氏名	(ともなが しんいちろう) 朝永振一郎	生年月日 (年齢)	1900年 4月 31日 (137歳)
	所属研究機関・ 部局・職	江戸文理大学・理学部・名誉教授	学位	理学博士

本欄には、応募者の研究計画の実行可能性を示すため、(1)研究分担者のこれまでの研究活動、(2)研究分担者の研究環境(研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む)について記述すること(1頁以内)。
「(1)研究分担者のこれまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

（1）研究分担者のこれまでの研究活動

―― ※留意事項 ―――

1. 研究業績(論文、著書、産業財産権、招待講演等)は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。
例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年(西暦)、著書の場合はその書誌情報、など。
3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。
4. 本留意事項は、研究計画調査(計画研究)の作成時には削除すること。(PapersInstructionsを消す)

私は毎晩超新星を探索するために目を皿のようにして望遠鏡をのぞき、前夜の写真と新しい写真をそれぞれ別の目で見してきた。そのために目の大きさと立体視能力では誰にも引けを取らない。

（2）研究分担者の研究環境

天体観測用の広視野の望遠鏡はあるので、それを携えて地球周回軌道に行けば、象の卵の探索はできる。また、季節によらず約45分観測しては約45分寝られるので、実質ほぼ24時間体制で探索を続けられる。ただし、暗いと目が覚め、明るいと眠くなる長年の習慣を直す必要はある。

1. “Supernova detection with human neural network”, H. Yukawa, *Astrophysics* **1234**, 5678 (2019).
2. “象の卵の抱卵の分担”, H. Yukawa, 皇帝ペンギン *et al.*, *J. Eggs* **123**, 456 (2018).